令和3年度指定管理者モニタリング評価表

施 設 名	羽咋勤労者総合福祉センター	所在地	羽咋市千里浜町力1番地20		
指定管理者	公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター	•			
住 所	羽咋市千里浜町力1番地20	選定方法	非公募		
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日				
指定管理料	3,005千円(令和3年度決算額)				
評価担当課	商工観光課				
年度重点目標	利用人数の5%増加				

評価項目		評価する内容の詳細	中間	年間	確認方法	備 考			
1	職員配置などの 実施体制	仕様書・事業計画書どおり の人員配置がなされている か。	Α	А	現地	・タイムカード、就業報告書(夜間、休日分)で確認			
		事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	Α	А	現地	経理研修(3月) ※防火管理者は2名が取得済			
		指定管理業務の全部、又は 主たる業務を再委託してい ないか。(届出済みの業務委 託部分は除く)	Α	А	書類	・再委託承認申請書の提出を確認			
2	施設、設備及び 備品の維持管理 の状況	仕様書等に基づき適正に維 持管理業務が実施されてい るか。	Α	А	現地	・年度協定書と利用状況報告書や聞取 りなどで確認			
		整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を 損なっていないか。	Α	А	現地	・週2回清掃、年1回ワックスがけ・除草作業(2回)・シルバー会員が屋外樹木剪定をした			
		法定保守点検について、点 検内容、時期等が法令基準 に基づき実施されているか。	Α	А	現地	- ●利用状況報告書で確認 -			
		保守点検において、異常が 認められていた場合、また、 修繕が必要な箇所が見つ かった場合、適切な処置が 実施されたか。	A	А	現地	・利用状況報告書で確認			
		備品等に過不足がなく、適 正に管理されているか。	A	В	現地	・備品台帳確認 ・備品台帳に記載漏れがあった			
3	サービス向上へ の取組状況 (アンケート調査に よる意見及び対応 は項目9に)	ホームページなどで積極的 に情報提供が行われている か。	Α	А	現地	・PRチラシ、ホームページを利用			
		特定の利用者を優遇したり、 法令に基づく手続を経ること なく、利用を制限している事 例はないか。	A	А	現地	・実績報告書及び聞き取りで確認			
		利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	А	現地	・意見箱を常設 ・アンケートは11/19~12/19実施			
		苦情・トラブルに対し、適切・ 迅速に対応しているか。	Α	А	現地	・苦情等を受けていないか確認			
4	防犯・防災対策 の取組状況	緊急時の連絡体制は整って いるか。避難訓練等は実施 されているか。	Α	А	現地	・緊急マニュアルや防火管理維持台帳で確認・自衛消防訓練実施(9月実施、3月実施)・AEDを使用した救命の手順を全会員に送付(12月)			
		リスクに応じた保険等に加入 しているか。	Α	А	現地	・利用者に対する施設賠償責任保険(日本興亜損保)の加入を契約書にて確認			

	== /#-== D	=======================================	評		75 = 77 - L \ \ L	144	-1	
	評価項目	評価する内容の詳細	中間	年間	確認方法	備 考		
5	個人情報保護の 措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A	А	現地	・今年度分・前年度を き)に、それ以前のタ に保管		
6	経理の執行管理 状況	団体のその他の事業との区 分を明確にし、適正に経理 処理が実施されているか。	Α	А	現地	・帳簿の区別を確認 理)	(システムにて管	
		収支計画書と大きな隔たり はないか。ある場合は、その 原因は何か。	Α	А	現地	•予算執行状況報告	書で確認	
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	S	S	現地			
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	Α	А	現地	・利用状況報告書で確認		
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他 必要な報告が適切に提出さ れているか。	Α	А	現地	・毎月10日までに、利用状況報告書が 提出されている		
9	アンケート調査意見及び対応	・今年度のアンケートは11/19~12/19に実施。 ・要望事項 ・Wi-Fi環境→Wi-Fi接続工事は令和3年7月に完了しており全館で利用可能となっている。館内で無料のWi-Fiを使用できる案内ポスターを掲示。 ・可動式の鏡→和室で可動式の鏡導入を検討						
10	今後、検討・調整が必要な事項	・施設の老朽化(築後32年経過)により改修等が必要な状況となっている。優先順位を定め、計画的な修繕及び工事を行っていく。 ・新型コロナウィルスの今後の感染状況に留意しながら予防対策をし利用者の増加を図る。						
11	今後の管理方針	・公共施設長寿命化計画による改修の推進。 ・新型ウイルス感染症拡大防止対策を踏まえた施設利用方法の周知徹底を図る。						
総合評価		中間評価		年間評	価	令和2年度	令和元年度	
		А	А			А	А	